学校番号	1006

令和２年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	第１学年	・増進堂 FLEX English Communication　Ⅰ ・増進堂　FLEX English Communication Ⅰ予習ノート ・必携英単語 LEAP ・Jet Reading 英語速読テスト Level 1 ・Listening Laboratory Basic α

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語Ⅰの授業は、「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という４技能の力をつける授業です。そのため、聞いたり読んだりしたことを基に情報や考えなどについてキーワードでメモをとり、話したり書いたりする言語活動を多く行います。

・英語の語彙や文法については、使い方と使用場面を意識して学習することが大切です。「英語を使う」ことを意識して辞書や教科書本文を活用していきます。

・音読は外国語学習の中でとても大切な練習の一つです。英語のリズム・イントネーション・区切りに気をつけて、聞いている人にきちんと伝わるような音読を心がけましょう。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第１学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅰ」（３単位）及び「英語表現Ⅰ」（３単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・読んだ内容を中心に、学んだことや経験したことに基づいて、考えなどを話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。 ・事実に基づいて意見などを話すことができるなど	コミュ英Ⅰ インタビューテスト ペアワーク 英語表現Ⅰ インタビューテスト ペアワーク	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書くことができる。 ・内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら書くことができるなど	コミュ英Ⅰ ライティング課題 定期考査 英語表現Ⅰ ライティン課題 定期考査	・様々な事物や写真の紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどの要点をとらえることができるなど	コミュ英Ⅰ 定期考査 ペアワーク インタビューテスト	・エッセイや物語などを読んで、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・説明や物語などを読んで、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができるなど	コミュ英Ⅰ 音読 定期考査 ペアワーク

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

単元(配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Chapter 1 (６時間)	人気キャラクターの成功の舞台裏にはキャラクター使用権のしくみがあり、様々な人の努力・チームワークとはどのようなものかを紹介する内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		人気キャラクターの舞台裏を、間違いを恐れずに発言する。	使用権やチームワークについて、自分の考えをグループで話し合う。	・くまモンとは、どんなキャラクターなのかを理解しようと努めている。 ・積極的に声を出して音読しようと努めている。	グループで意見交換した内容をプリントに書かせ、その発表内容を判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		人気キャラクターに関して、身近にあるものを説明する。	チームワークの内容に関して簡潔な種類や説明文を書く。	本文の内容についての英問英答や、知り得た情報の英語による説明ができる。	グループで意見交換した内容をプリントに書かせ、その内容を判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		キャラクターの使用権や様々な人の努力について理解する。	セクションごとの内容と結論文を把握する。	・本レッスンの本文英文を聴いて、大まかな概要を把握できる。 ・時制を的確に把握し、時系列に従って本文の内容を正確に理解できる。	定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		受け身・to 不定詞・動名詞について、それぞれの意味や働き、形を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 ・参考資料を読んで非音声的言語の知識をさらに深める。	受け身・to 不定詞・動名詞について、それぞれの意味や働き、形を理解している。	言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Chapter 2 Part 1 (８時間)	脳神経外科の研究を通して、アスリートの脳の働きについて紹介する内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		脳の働きついて、知っていることを、間違いを恐れずに発言する。	脳の働きについて、自分の考えをグループで話し合う。	大きな目標を成し遂げるためには、脳をどのように働かせるか、その工夫を理解しようと努めている。	グループで意見交換した内容をプリントに書かせ、その発表内容を判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・脳外科の研究について読み、その内容を口頭で要約する。 ・読んだことに基づき、脳の働きについて話す。	・各セクションの内容を口頭で要約する。 ・ペアで、メモに基づいて、自分の将来の夢について伝え合う。	・摩擦音や破裂音に注意して、提示された英文を音読することができる。 ・本レッスンの内容についての英問に対して英語	発表内容や話し合いの内容で、表現が身についているかを判断する

				で答えを書くことや、得た情報を英語に直して書くことができる。	
		「外国語理解の能力」			
		アスリートの脳の働きがどのようなものか、効率的な方法などを理解する。	・セクションごとの内容と結論文を把握する。	関係代名詞の表現を的確に把握し、その使い方と内容を理解した上で、本文の内容を正確に把握できる。	定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する
		「言語や文化についての知識・理解」			
		進行形、間接疑問、分詞の表現、それぞれの意味や働き、形を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 ・参考資料を読んで脳の働きや集中が高い時の知識を深める。	進行形、間接疑問、分詞の表現、それぞれの意味や働き、形を理解している。	脳の働きに関する定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Chapter 3 （8時間）	JAXA が国産の太陽光をエネルギーに還元する装置を現在試みている過程を紹介する内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		SSPS 計画とは何か、エネルギー問題について、間違いを恐れずに発言する。	セクションごとの内容に対するキーワードをメモし、それを参考にしながらグループで伝え合う。	環境にやさしいエネルギーに関する問題点を読み取ろうと努めている。	セクションごとのキーワードを板書させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		この単元で学んだ語句や表現を用いて、環境に優しいエネルギーについての情報を、聞き手に伝わるように話す。	・本文中に出てくる表現にマークを入れながら読み、復習プリントを利用して、自ら本文に関するＱ＆Ａをつくる。	類似している２つの音の違いに注意し、提示された英文を音読することができる。	・グループでの言語活動を観察する。 ・復習プリントを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・SSPS 計画ついて理解する。 ・なぜ日本は石炭や石油の輸入国になっているのかを理解する。	・セクションごとに、内容に関する質問や要約などをグループで話し合い、プリントに書く。	・本レッスンの内容について英問や英文を聴いて、内容を正しく理解できる。 ・時制を的確に把握し、時系列に従って本文の内容を正確に理解できる。	定期考査の筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		助動詞、現在完了について、それぞれの意味や働き、形を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 ・参考資料を読んで環境に優しいエネルギーについての知識を深める。	助動詞、現在完了について、それぞれの意味や働き、形を理解している。	言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Chapter 4 （8時間）	マララさんの態度や姿勢、世界の子どもたちに教育の大切さを訴えていく過程を紹介する内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		マララさんについて、間違いを恐れずに発言する。	マララさんについて、グループで簡単な英語で説明する。	筆者の活動から、教育の大切さを理解しようと努めている。	各自の意見を書いたプリントの内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・マララさんについての説明を読んで、内容を簡潔に要約する。 ・マララさんの過ごした環境や教育の大切さの関連を、簡単な英語でプリントに書いて、相手に分かるように話す。	・本文中に出てくる表現を参考に、キーワードを使いながら要約文を書く。 ・プリントを利用して、自分の考えをまとめて、簡単な英文をつくる。	・本文で扱われる母音や子音の音に注意し、発音できる。 ・本レッスン内容についての英問に対して英語で答えを書くことや、知り得た情報を英語に直して書くことができる。	グループ発表の板書や、定期テストの筆記テストにおいて、内容理解と表現が身についているかを判断する

		「外国語理解の能力」			
		・マララさんが行った行動について理解する。 ・自分たちの生活との関連について理解する。	・セクションごとに、内容に関する質問や穴埋め問題などで、本文の内容を理解する。 ・参考資料やグループでの話し合いから、自分の意見をまとめ、グループの意見を出して、他の人たちの考え方も理解する。	本文中で用いられた熟語や表現を的確に把握し、その意味が理解できる。	定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		関係代名詞、過去完了形、関係代名詞 what、それぞれの意味や働き、形を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 ・参考資料を読んでマララさんや教育を受けたいという願いについての知識を得る。	関係代名詞、過去完了形、関係代名詞 what、それぞれの意味や働き、形を理解している。	言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Chapter5 （ 10 時間）	富士山の特徴や日本文化の富士山について紹介する内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		富士山の特徴や文化について恐れずに発言する。	富士山について、グループで簡単な英語で説明する。	浮世絵師の作品はどのような芸術家たちに影響を与えたかを読み取ろうと努めている。	各自の意見を書いたプリントの内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語表現の能力」			
		・富士山の文化歴史についての説明を読んで、内容を簡潔に要約する。 ・文化としての富士山によって、歴史的な背景や、自分たちの生活がどう変わるかについて、自分の考えを簡単な英文でプリントに書き、相手に分かりやすいように伝える。	・プリントを利用して、自分の考えをまとめて、簡単な英文をつくる。 ・グループで話し合って、まとめた内容を板書して発表する。	・日本語にはない、英語独特の音に注意して、提示された英文を音読することができる。	グループ発表の板書や、定期テストの筆記テストにおいて、内容理解と表現が身についているかを判断する
		「外国語理解の能力」			
		・富士山の歴史的背景を理解する。 ・富士山の文化としての位置づけを理解する。	・セクションごとに、内容に関する質問や穴埋め問題などで、本文の内容を理解する。 ・参考資料やグループでの話し合いから、自分の意見をまとめ、グループの意見を出して、他の人たちの考え方も理解する。	強勢、リズム、イントネーション、区切りなどに注意して音読することができる。	定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		同格 that、原形不定詞、節を導く形式主語 it について、それぞれの意味や働き、形を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 ・参考資料を読んで富士山についての知識を得る。	同格 that、原形不定詞、節を導く形式主語 it について、それぞれの意味や働き、形を理解している。	言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

Chapter6 （ 8 時間）	ドナルド・キーン氏の生き方や日本の古典・伝統・文化や歴史観を紹介する内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		ドナルド・キーン氏について、間違いを恐れずに発言する。	ドナルド･キーン氏について、グループで英語で説明する。	ドナルド・キーン氏とはどのような人物か、また彼は日本文学を世界にどのように広めたかを読み取ろうと努めている。	各自の意見を書いたプリントの内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語表現の能力」			
		・ドナルド・キーン氏について意見を交換し、日本文学をどのように世界に広めたのかについて英語で発表する。	・プリントを利用して、自分の考えをまとめて、英文をつくる。 ・グループで話し合って、まとめた内容を板書して発表する。	・本文の内容についての英問英答や、知り得た情報の英語による説明ができる。 ・強調構文 It is… that~, 受け身の進行形、付帯状況の with、本文中に出てきた語法・熟語を使って、指示にそった適切な英文を書くことができる。	グループ発表の板書や、定期テストの筆記テストにおいて、内容理解と表現が身についているかを判断する
		「外国語理解の能力」			
		・ドナルド・キーン氏の人物像ついて理解する。	・セクションごとに、内容に関する質問や穴埋め問題などで、本文の内容を理解する。 ・参考資料やグループでの話し合いから、自分の意見をまとめ、グループの意見を出して、他の人たちの考え方も理解する。	日本語とは異なる英語の音に対して、どのようなことを述べているのか、概要をつかむことができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する
		「言語や文化についての知識・理解」			
		関係副詞、関係代名詞の非制限用法、It is true that…, but ~それぞれの意味や働き、形を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 ・参考資料を読んで犬の品種改良についての知識を得る。	関係副詞、関係代名詞の非制限用法、It is true that…, but ~それぞれの意味や働き、形を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Chapter7 （ 10 時間）	仮想水とは何か、何故日本は仮想水を多く利用しているかについて紹介する内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		仮想水について、間違いを恐れずに発言する。	仮想水について、グループで英語で説明する。	仮想水の概念と日本における仮想水の輸入量が増大している問題を理解しようと努めている。	各自の意見を書いたプリントの内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語表現の能力」			
		仮想水や、食料の輸入について考え、意見を交換し、英語で発表する。	・プリントを利用して、自分の考えをまとめて、英文をつくる。 ・グループで話し合って、まとめた内容を板書して発表する。	日本語に近い発音や母音の区別に注意し、提示された英文を音読できる。	グループ発表の板書や、定期テストの筆記テストにおいて、内容理解と表現が身についているかを判断する
		「外国語理解の能力」			
		・仮想水とは何かを理解する。 ・仮想水とその背景ついて理解する。	・セクションごとに、内容に関する質問や穴埋め問題などで、本文の内容を理解する。 ・参考資料やグループでの話し合いから、自分の意見をまとめ、グループの意見を出して、他の人たちの考え方も理解する。	図表が示す内容を的確に把握し、図表を参考にしながら本文の内容を正確に理解できる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する

		「言語や文化についての知識・理解」			
		関係代名詞の非制限用法、前置詞+関係代名詞、関係副詞、それぞれの意味や働き、形を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 ・参考資料を読んで仮想水についての知識を得る。	関係代名詞の非制限用法、前置詞+関係代名詞、関係副詞、それぞれの意味や働き、形を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Chapter8 （８時間）	山海教授が開発したＨＡＬと呼ばれるロボットについてや、研究をすすめる上で持ち続ける信念について紹介する内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		HALと呼ばれるロボットについて、間違いを恐れずに発言する。	HALと呼ばれるロボットについて、グループで英語で説明する。	山海教授がロボットに興味をもったきっかけと、ＨＡＬをつくるまでの過程を読み取ろうと努めている。	各自の意見を書いたプリントの内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語表現の能力」			
		出生率の低下について考え、意見を交換し、英語で発表する。	・プリントを利用して、自分の考えをまとめて、英文をつくる。 ・グループで話し合って、まとめた内容を板書して発表する。	英語特有のlやrの発音に注意して、提示された音量で英文を音読することができる。	グループ発表の板書や、定期テストの筆記テストにおいて、内容理解と表現が身についているかを判断する
		「外国語理解の能力」			
		・HALと呼ばれるロボットについて理解する。 ・研究を続ける上での信念について理解する。 ・自分の人生を変えるぐらいのロボットについて紹介することができる。	・セクションごとに、内容に関する質問や穴埋め問題などで、本文の内容を理解する。 ・参考資料やグループでの話し合いから、自分の意見をまとめ、グループの意見を出して、他の人たちの考え方も理解する。	・英語特有のｌとｒの発音を認識できる。 ・強勢・リズム・イントネーション・区切りなどに注意して音読することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する
		「言語や文化についての知識・理解」			
		仮定法過去・関係副詞の非制限用法、仮定法過去完了、それぞれの意味や働き、形を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 ・参考資料を読んでロボットについての知識を得る。	仮定法過去・関係副詞の非制限用法、仮定法過去完了、それぞれの意味や働き、形を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Chapter9 （10時間）	「バイオミミクリー」とは何か、私たちのどのような問題を解決してくれようとしているかについて紹介する内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		バイオミミクリーとは何かについて、間違いを恐れずに発言する。	バイオミミクリーの良い点や開発されたものについて、グループで英語で説明する。	バイオミミクリーは私たちのどのような問題を解決してくれるかを読み取ろうと努めている。	各自の意見を書いたプリントの内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語表現の能力」			
		どのようなものをヒントにして、開発がされたのかについて考え、意見を交換し、英語で発表する。	・プリントを利用して、自分の考えをまとめて、英文をつくる。 ・グループで話し合って、まとめた内容を板書して発表する。	・つづり字につられて間違いやすい発音や、日本語に近い発音に注意して、提示された英文を発音することができる。	グループ発表の板書や、定期テストの筆記テストにおいて、内容理解と表現が身についているかを判断する
		「外国語理解の能力」			
		・バイオミミクリーについて理解をする。 ・生物を基にしてどのようなものが開発されたのかを理解する。 ・自然の産物を使うことでどのような利点があるかを理解する。	・セクションごとに、内容に関する質問や穴埋め問題などで、本文の内容を理解する。 ・参考資料やグループでの話し合いから、自分の意見をまとめ、グループの意見を出して、他の人たちの考え方も理解する。	バイオミミクリーについて、各パートに提示されているトピックに沿って正確に把握することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する

		「言語や文化についての知識・理解」			
		SVOC, if 節のない仮定法、分詞構文について、それぞれの形と意味を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 ・参考資料を読んで、バイオミミクリーの概念や問題の解決方法についての知識を得る。	SVOC, if 節のない仮定法、分詞構文について、それぞれの形と意味を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Chapter10 (10 時間)	ダライ・ラマ 14 世は世界でどのように知られているのか、平和を築いていくためには何が大切かについて紹介する内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		ダライ・ラマ 14 世について、間違いを恐れずに発言する。	平和な世界を作っていく上で何をすべきかについて、グループで英語で説明する。	平和を気づいていくためには何が大切かを読み取ろうと努めている。	各自の意見を書いたプリントの内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語表現の能力」			
		世界が平和になるために何ができるのかを理解し、まとめて情報を伝える。	・プリントを利用して、自分の考えをまとめて、英文をつくる。 ・グループで話し合って、まとめた内容を板書して発表する。	・部分否定、複合関係代名詞、分詞構文の受け身など、本文中に出てきた語法・熟語を使って、指示にそった適切な英文を書くことができる。	グループ発表の板書や、定期テストの筆記テストにおいて、内容理解と表現が身についているかを判断する
		「外国語理解の能力」			
		・ダライ・ラマ 14 世が世界でどのように知られているのかを理解することができる。 ・英語の大切さについて読み取ることができる。	・セクションごとに、内容に関する質問や穴埋め問題などで、本文の内容を理解する。 ・参考資料やグループでの話し合いから、自分の意見をまとめ、グループの意見を出して、他の人たちの考え方も理解する。	日本語に近い音や類似した音に注意して音読することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する
		「言語や文化についての知識・理解」			
		部分否定・複合関係代名詞・分詞構文の受け身、それぞれの意味や働き、形を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 ・参考資料を読んで、ダライ・ラマ 14 世、世界平和についての知識を得る。	部分否定・複合関係代名詞・分詞構文の受け身、それぞれの意味や働き、形を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。